



<p>考 察</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本市との比較</li> <li>・本市への事業導入の可能性</li> <li>・今後の検討内容</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・転入者を増やし、定住を促進する施策については、その効果を明瞭に判別することは容易ではない。各種制度の利用者から、ホンネの意見を聴取できることが理想的ではあるが、必ずしも実現できるとは限らない。結局、トライアンドエラーにならざるを得ない面もある。</li> <li>・日本全体で人口が減少していく現実を踏まえれば、将来にわたって持続可能な自治体となるためには、周辺自治体と比較して魅力ある自治体であることが求められる。いわゆる「選ばれる自治体」にならなければならない。</li> <li>・茅ヶ崎市は、人口減少テンポが最も緩やかに推移すると予想される首都圏に位置していることは恵まれた条件と言える。しかし、周辺自治体もまた同じである。福岡県柳川市から得られて所感としては、有効性が期待される施策を失敗を恐れずに実行すること、またフットワーク軽く柔軟に施策の見直しを行うことである。その際にシティプロモーションの観点は不可欠であり、その自治体を持つ自然条件、歴史、文化、広域的な地域（柳川市においては筑後地方）の特性など、あらゆる側面を活用することが重要である。</li> <li>・今後の茅ヶ崎市の移住・定住促進策としては、近隣自治体の動向を注視し、有効と思われる施策についてはキャッチアップするという姿勢が望まれる。一方、実際の施策展開にあたっては、費用対効果の側面も十分に考慮されるべきと考えるところである。</li> </ul> <p>【視察時の様子】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>備 考</p>	